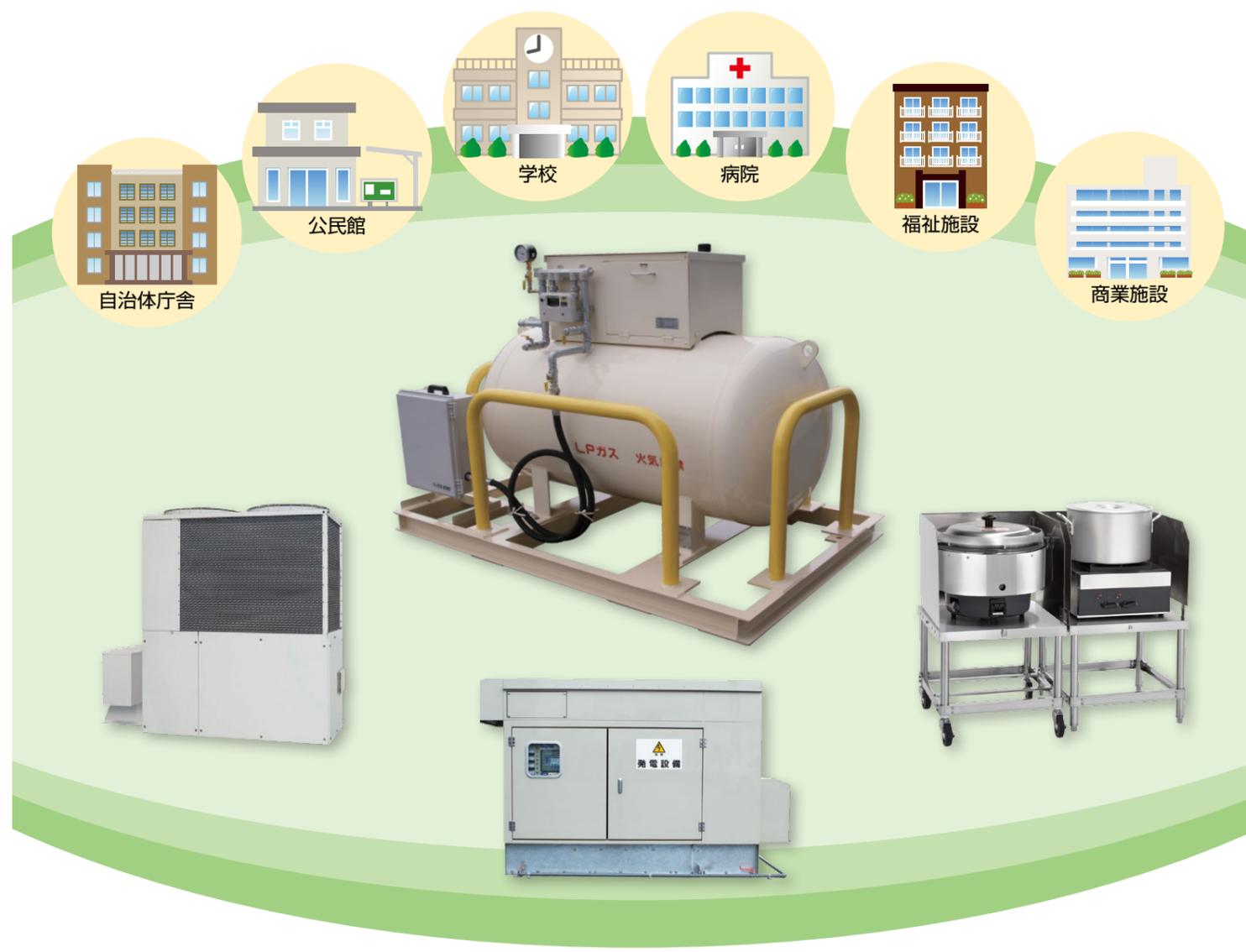


経済産業省補助事業

LPガス災害バルク

導入事例集

LPガスで防災対策&BCP強化

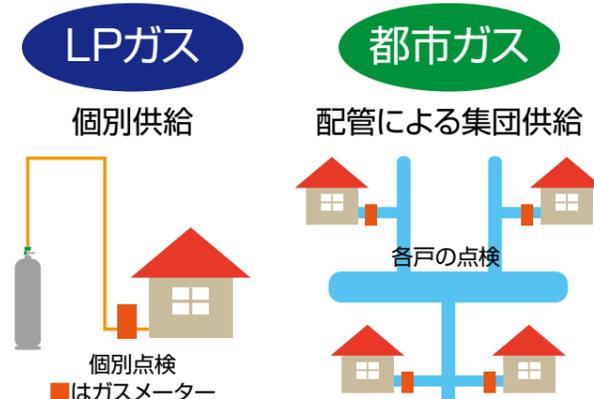


災害バルク等のLPガス設備で

災害時に備えたインフラづくり

LPガスは個別供給だから災害時にも復旧が早い

LPガスは容器で個別供給する分散型エネルギーです。ガス供給がストップした場合も、配管等の調査・点検が終了したお客様からすぐにガスを使うことができます。都市ガスは配管による集団供給なので、区域内の埋設配管点検・調査が終了しないと使用できません。そのため、都市ガスは復旧に時間がかかります。



家庭の軒下には容器が通常2本設置され(軒下在庫)、万一配送が滞っても、50kg容器2本の場合、平均1ヵ月以上使用できます。



LPガスの軒下在庫



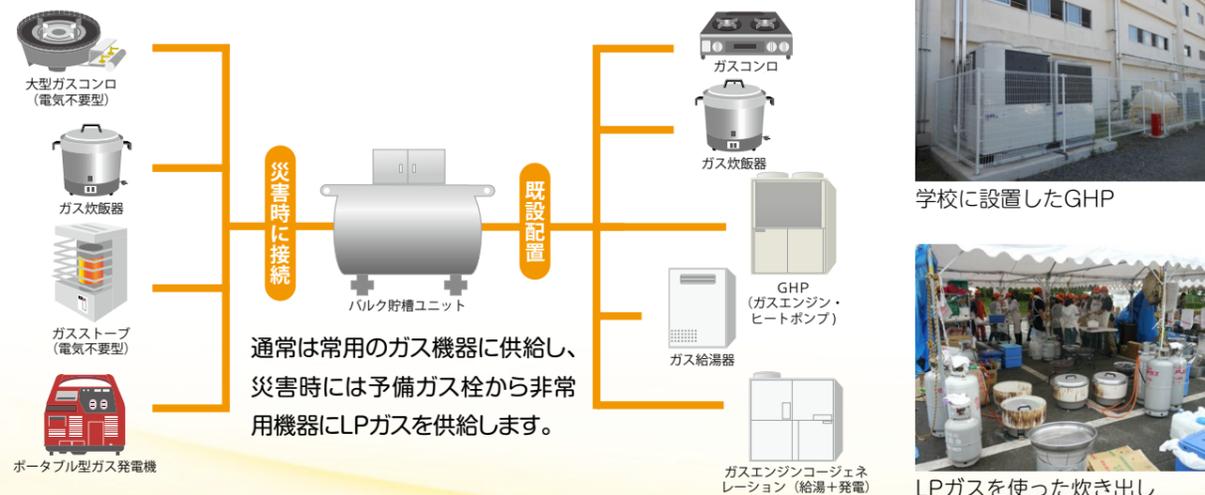
東日本大震災で活躍した災害バルク

LPガス災害バルクは、LPガスを大量に蓄えておくバルク貯槽と、災害時でもLPガスを安全に供給できる設備(ガスメーター、圧力調整器、取出し用ガス栓等)が一体になった設備で、300kg、500kg、1t、3tタイプがあります。平常時には、通常のバルク貯槽として使用できます。

LPガスが被災者・避難者の命をつなげます

復旧が早いLPガスが被災者・避難者の命をつなげます。系統電源を使うことなく、非常用発電機や炊き出し設備、仮設風呂(シャワー)、冷暖房などの様々なLPガス機器を利用でき、避難生活を支えます。

◎避難所でのLPガス災害バルク導入イメージ



学校に設置したGHP



LPガスを使った炊き出し

停電時の電源確保にLPガスが役立ちます

LPガス発電機を備えることで、停電時でも様々な電気機器が使用できます。



※電気容量は主な製品の消費電力の例です。

	非常用発電機				最大運転可能時間(h)*		
	定格出力 kVA	Hz	消費量 Nm ³ /h	kg/h	0.3tバルク	0.5tバルク	1tバルク
単相	8	50	1.3	2.6	115	192	385
	9.9	60	1.6	3.2	94	156	313

*連続運転の場合出力は8割程度となります。
*連続運転する場合はエンジンオイルの消費量も考慮してください。
*ガス発生量、その他稼働条件によって連続運転時間は異なります。
*LPガス量は満タン時の前提。

★1t型バルク貯槽で300時間以上の電源を確保

公共施設、病院・介護施設等でLPガスによる災害対策が注目されています

施設のBCP(事業継続計画)対策に有効なLPガス設備
災害発生で停電...

- ◆電気機器が停止する
⇒医療・介護施設では医療機器の停止で入院患者の人命に関わる事態に。避難所ではエアコンが使えず健康被害も報告されています。
- ◆照明が消える
- ◆通信手段がなくなる
- ◆システムのサーバーがダウン
⇒LPガス発電機、発電機能付きGHPや災害バルク貯槽を備えることで、停電時も電源を確保できます。



GHP(ガスエンジン・ヒートポンプ) 停電時自立型発電タイプ



非常用発電機



ポータブル型発電機

政府の動き

災害時に備えて、燃料供給側の強靱化対策が進められていますが、被災直後の交通網等の混乱を想定すると、電力・燃料供給網が復旧や救援物資が届くまでの間をどのように乗り切るかが課題となります。

特に、社会的な重要インフラと言われる政府庁舎や自治体庁舎、通信、放送、金融、病院、学校、避難所、大型商業施設等の施設では、停電した場合でも非常用電源を稼働させて業務を継続し、炊き出し等でも国民生活を支えられるよう、燃料備蓄を含めて、個々の状況に応じた準備を行うことが必要です。

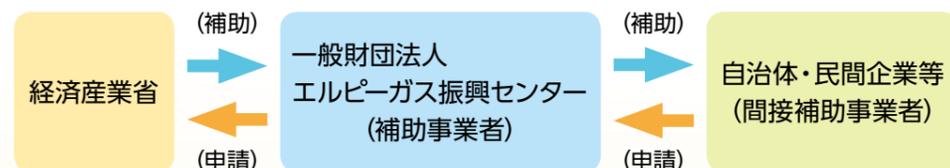
政府としても、その重要性を「第5次エネルギー基本計画（平成30年7月閣議決定）」や「国土強靱化基本計画（平成30年12月閣議決定）」で記述し、需要家側での燃料備蓄の対応を求めています。

補助事業の概要（平成31年度概要）

災害時に備えた社会的な重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金（LPガス災害バルク等の導入に係るもの）

【補助事業概要】

- ・補助対象施設：災害発生時に避難場所まで避難することが困難な者が多数生じる施設、公的避難所（地方公共団体が災害時に避難場所として指定した施設）、一時避難所となり得るような施設
※地方公共団体が一時避難所として認知していることが条件です。
※LPガスの備蓄（在庫）が避難所としての機能・維持をするために3日以上確保することが条件です。
- ・補助対象設備：LPガス災害バルク貯槽、LPガス発電機や照明機器、空調機器（GHP等）、燃焼機器（調理機器、給湯器）、簡易スタンド
- ・補助対象経費：LPガス災害バルク等の機器購入費と機器の設置工事費
- ・補助率：中小企業者は2/3、それ以外は1/2
- ・補助金額：
 - ①一申請あたり上限1千万円… 容器及び供給設備のみ
 - ②一申請あたり上限5千万円（設置事例）
 - i) … 容器及び供給設備+LPガス発電機・照明機器ユニット
 - ii) … 容器及び供給設備+LPガス空調機器ユニット
(GHP、コージェネレーション他)
 - iii) … 容器及び供給設備+LPガス燃焼機器ユニット
(炊き出しセット、コンロ、給湯器他)
 - iv) … 容器及び供給設備+LPガス簡易スタンドユニット
 - ③一申請あたり上限1億円… ②のi)とii)を同時に設置する場合



村庁舎にGHPと発電機設置

災害時の孤立に備えLPガス容器で備蓄

南牧村庁舎（群馬県甘楽郡南牧村）

CO₂排出低減でLPガス採用

群馬県南牧村は国の補助制度を活用し、村庁舎の空調設備としてLPガス仕様GHPと、災害時に備えて非常用発電機を導入した。これまで冷房は吸収式冷水機、暖房は重油ボイラーを使用していたが、老朽化に加え契約電力料金の負担も課題だった。今回、最も重視したのが約9割を山林が占める自然環境を活かした村の活性化で、CO₂の排出を抑える観点から燃料はLPガスを採用した。

また、山に囲まれた地形のため、村外とつながる1本道が寸断された場合に孤立状態に陥ることから、LPガス50kg容器40本（2t分）を新たに設置した。これにより災害時に村が孤立しても約3週間の空調や電源、熱源を確保した。

ユーザーの声



南牧村
村長

長谷川 最定 さん

エコなLPガス発電

いろいろな意見があると思いますが、現状では商用電力よりも明らかにLPガスによる発電の方がエコだと思っています。当村は面積のほとんどを山林が占めている地形です。今回GHPや非常用発電機などLPガス設備を導入したことを出発点にして、山林を活かした村の活性化の可能性について取り組んでいきたいと思っています。

※Web動画もご覧ください。

設置機器

- ・50kg容器×40本
- ・GHP×5台
- ・非常用LPガス発電機（45kVA）



南牧村庁舎



50kg容器40本でガスを供給 非常用発電機

停電時も透析治療の継続可能に

大震災を教訓にLPガス発電機採用

医療法人絆 おぐら内科・腎クリニック (栃木県小山市)

災害時に透析患者の生命を守る

内科診療と人工透析治療を行う医療法人絆おぐら内科・腎クリニックは、災害バルクと非常用発電機を設置し、**災害時でも透析治療を継続し患者の生命を守る体制を整えた。**

小倉学院長は真岡市の病院に勤務していた際に東日本大震災を体験した。勤務先には非常用発電設備があったが、設備のない他の病院ではすべて停電したため、透析患者を受け入れて治療を継続した経験から、非常用発電機の重要性を認識していた。

平成25年に開業後、**軒下在庫や劣化しない等のLPガスの強靱性を知り、大震災の教訓を活かして非常用発電機を採用した。**災害時は透析患者の治療を最優先にし、他医院からも受け入れて治療を行う。

ユーザーの声



医療法人絆
おぐら内科・腎クリニック
院長

小倉 学 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (105kVA)
- ・LED投光器



おぐら内科・腎クリニック



災害バルク貯槽



非常用発電機

発電機導入で安心して治療できる病院に

電力供給が停止して人工透析ができなくなると、患者さんの生命に関わります。大震災時に周辺の病院がすべて停電した際は、透析患者を受け入れ数日に渡って治療を続けました。これをきっかけに非常用発電機を設置しようと強く決意しました。

災害に強いLPガスの発電機を導入してからは、非常時でも治療が継続できることに安心感を覚えるようになりました。患者さんも安心して治療が受けられる病院になったと考えます。災害時には他の病院からの患者さんも優先的に受け入れ、地域に貢献します。

災害時に村民を守る重要拠点に

LPガス設備一式を導入し安心感

東白川村国保診療所 (岐阜県加茂郡東白川村)

停電で電力確保の必要性痛感

東白川村国保診療所は令和元年11月に新施設へ移転し開所した。3年前、村内の集落で4日間の停電が起こり、電気と水道が使えない事態が発生した。各地で自然災害が多発するなか、**村では非常時の入所者のために電力確保の必要性を感じていたため、診療所の新施設移転に合わせて災害バルクを設置した。**広い駐車場は災害時の緊急避難場所になっているため、**可搬式のLPガス発電機や投光器、炊き出しセットも併せて備えた。**

新施設は障害者のために所内の通路を広くし、感染症受付を新設するなど、外来者にこれまで以上に配慮した施設に生まれ変わった。介護老人保健施設を併設し、村の医療・介護福祉の中心拠点となっている。

ユーザーの声



東白川村国保診療所
事務局長

河田 孝 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・可搬式LPガス発電機 (0.9kVA)
- ・炊き出しセット
- ・LED投光器

給湯器や床暖房もLPガスに

旧施設の時は、緊急設備としてガスリン発電機が1台あるだけでしたが、**LPガス設備を一式揃えたことで安心感が生まれました。**

また、**新築にあたり診療所のシャワー室をガス給湯器に、老健の浴室、食堂、サービスステーションをガス床暖房に変えました。**今後は、年2回の防災訓練などの機会を通じて炊き出しをするなど、緊急時に有効活用できるようにするとともに、非常用設備をさらに充実していきたいと考えています。



東白川村国保診療所



災害バルク貯槽



非常用コンセントボックス

災害時には透析治療の砦に

新棟に非常用発電機4基を設置

医療法人養気会 池井病院 (宮崎県小林市)

地域や避難者の透析患者を受け入れ

医療法人養気会池井病院は100年の歴史を誇る総合病院で、令和元年に腎センターなどが入る新棟を建設した。新棟には**災害バルクと非常用発電機を導入し、災害時に系統電源が遮断された場合でも、地域や避難してきた透析患者を受け入れて治療が可能な災害対応型病棟となった。**かねてから池井病院では災害時の透析治療の継続を重要な課題としていたこともあり、新棟建設に当たっては災害への備えに配慮した設備導入となった。

また、透析治療のほか、施設の厨房や大浴場などで使うお湯を確保するためにガス給湯器を設置し、常時LPガスを利用する。

ユーザーの声



池井病院
事務長

森山 貴弘 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (54kVA) ×4台
- ・投光器



池井病院腎センター



災害バルク貯槽



非常用発電機

災害時の医療継続の課題を解決

南海トラフ地震が発生した場合、小林市も震度6強の大きな揺れが想定されています。当院にとって**災害時の医療継続は重要な課題**でした。そうした中、当院ドクターが**学会でLPガス災害バルクの情報を得たことがきっかけ**となり、供給設備に災害バルクを採用しました。停電に対応するため4基の非常用発電機設備を備え、災害時に避難してくる透析患者の砦となる病院施設になったと思います。

熊本地震教訓にLPガス設備導入

停電時に発電機で井戸ポンプ稼働し水確保

社会福祉法人緑翠会 走湯保育園 (熊本県宇土市)

災害想定し炊き出し設備を整備

走湯保育園では平成28年4月の熊本地震の際、停電と断水を経験した。隣接する宇土市立走湯小学校には多くの人々が避難し、校庭には1カ月余り車中泊をする住民もいた。これを教訓に**災害時でも安定した供給能力を持つLPガスを使った炊き出し等を行うため、災害バルクと非常用LPガス発電機を設置した。**

保育園の敷地内には井戸があり、**非常用発電機の電力でポンプを動かして断水時の水の確保に活用する。**また、走湯小学校と共同で防災訓練も実施しており、災害時の対応を確認し地域住民への周知を行っている。

ユーザーの声



社会福祉法人緑翠会
走湯保育園
園長

福成寺 詫真 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (9.9kVA)



走湯保育園



災害バルク貯槽



非常用発電機

避難者に温かい食事やお湯を提供

熊本地震の際には、停電と同時に断水にもなりました。隣接する小学校に詰めかける避難者の方々を見て、改めて災害への備えが必要だと感じました。近くに大きな川があることもあり、地震に加えて台風や大雨による水害への備えとして、補助事業を活用して災害バルクと非常用LPガス発電機の導入を決めました。

炊き出し用品や薪も備えているので、**いざという時は避難者の方々に温かい食事だけでなく、井戸の水を沸かして暖かいお湯も提供できます。**地域の皆さんにとって頼りとなる場所となるため、これからも災害対策用品や備蓄を準備したいと考えています。

災害時の電源・空調を確保

設備更新を機に発電機とGHP導入

社会福祉法人迫川会 特別養護老人ホームいちちょうの里 (宮城県栗原市) 避難者の受け入れ体制を整備

特別養護老人ホームいちちょうの里は、栗原市と災害時に地域の避難者を受け入れる協定を結んでいたが、停電すると電気設備や空調が使えなくなるため、受け入れ体制は十分と言えなかった。東日本大震災での停電を教訓に、平成26年に補助金を利用して**災害バルクと非常用発電機を導入し、災害時の必要最低限の電源を確保した。**一方、冷房用の電気エアコンと給湯・温水暖房に使用していたA重油ボイラーは、設置から30年近く経ち老朽化していた。**各種の補助金を活用して非常用発電機とGHP、ガス給湯器を導入し、災害時の電源・空調の確保と老朽設備の更新を同時に実現した。**

ユーザーの声



特別養護老人ホーム
いちちょうの里
施設長理事

白鳥 一彦 さん

地域の皆様に 役立ちたい思いで

空調設備を改修できる上、災害時の対応能力を強化できる。また、補助金が活用できることなどを評価して設備の導入を決めました。栗原市は災害時に高齢者や障害者等を受け入れる福祉避難所として指定する計画です。当施設は旧築館町の全戸からの寄付で事業を開始した経緯があり、地域の皆様に役立ちたいという思いを強く持っています。今回の設備導入で、そのための整備が進み、とても喜んでいきます。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (54kVA)
- ・GHP (30馬力×4台)
- ・投光器1式



いちちょうの里



災害バルク貯槽と非常用発電機



GHP

設備更新で停電対応型GHP導入

災害バルク供給採用し全面ガス空調化

社会福祉法人ひかり福祉会 友愛ハウス・ワークセンター絆 (滋賀県長浜市) 災害時に備え停電時の空調・電力確保

社会福祉法人ひかり福祉会は滋賀県内に20カ所の福祉施設を展開、友愛ハウスとワークセンター絆は長浜市で障害者の就労事業を行っている。平成13年の建設時から使ってきたLPガス仕様GHPとEHPが老朽化し、フロンガスから新冷媒への変更も求められていた。そうした折、LPガス事業者から**災害バルクの話**を聞き、補助金を活用した**全面ガス空調化に踏み切った。**LPガス仕様の**発電機付きGHPと電源自立型各1台で、停電時の空調と一定の電力を確保した。**2カ所の事務室に非常用の照明とコンセントを設置。さらに2.2kVAの可搬式LPガス発電機も購入し、万一の災害に備えている。

ユーザーの声



友愛ハウス・
ワークセンター絆
センター長

坂口 充 さん

福祉避難所の機能をより充実

平成30年の台風では、法人内の他の施設で停電が発生しました。職員がコンビニを回り食料を確保するなど対応に追われ、災害への備えの重要性を痛感しました。当施設は長浜市と福祉避難所の協定を結び、災害時に地域の障害者を受け入れることになっています。今回の設備更新で、**空調と電源を確保し、非常用ガス栓を使った炊き出しも可能になり、地域の避難所として一層の機能充実が図れました。**日常でも暖房の立ち上がりの早さなどGHPの良さを実感しています。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・GHP (発電機付き20馬力、電源自立型20馬力×各1台)
- ・可搬式LPガス発電機 (2.2kVA)



友愛ハウス・ワークセンター絆



GHPと災害バルク貯槽

電源自立型GHPなど導入

いざという時に役立つ葬祭会館に

葬祭会館 ピースフル森本 (石川県金沢市)

市の災害時等協力事業所に

「つながりの創造」を企業理念に掲げる株式会社シオタニは、江戸時代の加賀藩の材木商をルーツに持つ葬祭社。現在「愛する家族のための葬送空間」をブランドテーマに掲げ、金沢市内一円で葬祭会館を運営している。平成30年12月に開所した「ピースフル森本」は、家族葬専用の2棟からなる邸宅型葬祭会館だ。

「いざという時に役立つ施設」にしたいという思いもあり、国の補助金を活用して災害バルク貯槽と電源自立型GHP2台などを導入した。寒冷積雪期間が10～4月と長いため、自費でガス床暖房を採用し、床面積の約8割をカバーしている。平成31年2月28日には金沢市から「かなざわ災害時等協力事業所」の登録を受けた。

ユーザーの声



株式会社シオタニ
代表取締役

塩谷 真一郎 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・電源自立型GHP×2台
- ・炊飯器
- ・ガスストーブ
- ・ガスファンヒーター
- ・鋳物こんろ



葬祭会館 ピースフル森本



災害バルク貯槽



電源自立型GHP

新設物件に災害バルクの設置を進める

公民館やお寺のように、私共の施設も地域の役に立ち、安全安心の場となることを目指しています。当社は平成24年開所の葬祭会館に初めてバルクを導入しました。当時、補助金制度はありませんでしたが、いざという時を含め地域に役立つと考えたからです。ピースフル森本の開所に当たって、国の補助金制度を活用しましたが、今後の新設物件には必ず災害バルクを設置しようと考えています。全国の同業者にもこの補助金制度を教えます。

非常時にも顧客の処方箋対応

町と災害時協定、物資提供支援

杏林堂スーパードラッグストア吉田店 (静岡県榛原郡吉田町)

停電時も照明、支援場所の目印に

株式会社杏林堂薬局が展開する杏林堂スーパードラッグストア吉田店は、平成30年3月にオープン。国の補助事業を活用して災害バルク貯槽と非常用発電機、小型発電機、LED投光器、炊き出しセットを導入した。吉田町と災害支援協定を結び、店舗内を避難所として活用し緊急時に集積した救援物資を仕分け、流通させる拠点になるとともに、食品や医薬品などの物資提供支援を行う。

非常用電源はレジや照明、調剤薬局のデータ管理に使用し、非常時に処方箋を持参した顧客が困らない体制を整えた。照明による明かりは地域住民の支援場所の目印にもなる。隣接する防災公園の北オアシスパークの役割を補い、町の防災拠点として活用される。

ユーザーの声



株式会社杏林堂薬局
上席執行役員
店舗開発本部長

前嶋 克幸 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (31kVA)
- ・小型LPガス発電機 (0.9kVA)
- ・炊き出しセット
- ・LED投光器

発電機の必要性を強く認識

平成30年9月の台風24号で、2日間停電した店舗がありました。多くのお客さまが必要な物資を求めに店舗にいらっしゃいましたが、営業時間の短縮を余儀なくされ、処方薬を提供できずに悔しい思いをしました。停電時の被害を実感すると同時に、発電機の必要性を強く認識しました。今後も万一の事態に地域が困らないよう、そしてあってよかったと思われるような店舗づくりをしていきたいと考えています。



杏林堂スーパードラッグストア吉田店



災害バルク貯槽と非常用発電機

発電機等で避難所機能を強化

地域に“灯りがある安心感”を提供

藤枝商工会議所 (静岡県藤枝市)

劣化少ないLPガスで発電

藤枝商工会議所では、東日本大震災をはじめ多くの自然災害を受け、平成29年度に災害時の情報伝達・会員支援を目的としたインフラ整備と地域貢献のために、非常用発電機導入の検討を開始した。その後、劣化の少ないLPガスを燃料に使う発電機を知り、補助金を活用して災害バルク貯槽と共に導入した。30年11月には、藤枝市と「災害時における一時避難・災害復旧活動への協力に関する協定」を結び、有事の際には避難所として約100人の避難者を受け入れる。非常用発電機でLED投光器、各階の非常用LED照明を点灯して、地域に“灯りがあること”の安心感、を発信し、携帯電話等への充電サービスを提供する。

ユーザーの声



藤枝商工会議所
会頭

山田 寿久 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (300kg)
- ・非常用LPガス発電機 (9kVA)
- ・LED投光器×2台
- ・鋳物こんろ×2台



藤枝商工会議所



災害バルク貯槽と非常用発電機

施設の強靭化に会員も関心

いつ発生してもおかしくない災害に備え、設備・機能面の強靭化を図ることを検討していたところ、平成29年秋、台風21号による停電に見舞われ、灯りのない不安を体験しました。その後、国の補助金制度を活用すると、停電を含めて課題を解決できるのではないかと情報を、会員から得ることができました。当所が率先して強靭化に取り組んだところ、会員からも同様の設備を導入したいとの要望が出るようになりました。当所の取り組みは、日本商工会議所発行の平成31年2月21日付「会議所ニュース」にも掲載されました。

災害バルク+簡易スタンド導入

BCPを強化、社屋を避難所として開放

株式会社浅野保温 (愛知県丹羽郡扶桑町)

備蓄LPガスで炊き出し提供も

熱絶縁工事業の株式会社浅野保温は、社用車の燃料をLPガスに転換したのと併せて、国の補助事業を活用して災害バルクと簡易スタンドユニット、小型発電機、投光器を導入した。固定費削減とBCP (事業継続計画) 強化が目的で、災害時には社屋を避難所として開放し、備蓄したLPガスで炊き出しも行う。町で初の官民連携防災モデルとしても注目されている。

設備導入には中小企業庁の「経営力向上計画」も活用し、災害バルク補助と合わせて導入費用負担を大幅に低減した。平成30年には台風で大規模停電が発生しており、LPガス設備の導入で災害時の備えを強化した。

ユーザーの声



株式会社浅野保温
社長

浅野 朋幸 さん

設置機器

- ・災害バルク貯槽+簡易スタンドユニット (800kg)
- ・小型LPガス発電機 (2.2kVA)
- ・投光器

空調に停電対応型GHPの導入も検討

今回のLPガス設備の導入は、燃料費削減やBCP強化だけでなく、地域への貢献も同時に実現できる取り組みで、国土強靭化の実践につながるビジネスモデルと考えています。今後は空調設備として停電対応型GHPの導入も視野に入れています。

平成31年2月には、扶桑町の民間企業で初めての指定避難所となり、災害時に社屋を地域に開放できる体制を整えました。

これからも地域のために、LPガスを有効活用できる仕組みづくりへの取り組みを進めていきたいと考えています。



社屋と簡易スタンドユニット

大震災教訓に災害対応力強化

避難所の冷暖房にGHPを採用

母畑温泉 八幡屋 (福島県石川郡石川町)

町の災害時拠点の役割担う

福島県石川町の母畑温泉にある創業明治13年の老舗ホテル「八幡屋」は、別館「帰郷邸」の新設に伴う大改装に併せて、災害バルクとGHPを導入した。GHPは既存施設に設置していたが、災害時に避難所となる本館会議室「石陽」の冷暖房用に新設した。東日本大震災を経験したこともあり、事業継続を含め災害時のあり方を模索している中で、大改装を機にLPガス設備を導入することで災害対応力の強化を図った。平成30年12月には石川町と災害時のLPガス設備等の使用に関する合意書を締結し、有事には施設を無償利用できる体制を整えるなど、町の災害時拠点としての役割も担う。また、八幡屋は平成29年のプロが選ぶ日本のホテル・旅館100選で総合1位に選ばれ、全国的にも人気のホテルとなっている。

ユーザーの声



株式会社八幡屋
代表取締役社長

渡邊 武嗣 さん

有事にホテル施設を開放

米国暮らしを経て家業を継いだこともあり、離れたゆえの故郷の良さ、そして故郷をどう盛り上げるかを真剣に考えるようになりました。東日本大震災の際には、被災した広野町の避難者の受け入れを行いました。こうした経験もあり、常々事業継続を含め災害時のあり方を模索していました。今回の大規模な改装を機に、災害への備えをより強化するため災害バルクとGHPを導入しました。自然災害が多い国土だけに、ホテルの施設を災害時に避難所として開放できれば、地元にも貢献できると考えています。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (3t)
- ・GHP (16馬力)



母畑温泉 八幡屋



災害バルク貯槽



GHP

災害時はホテルが避難場所に

胆振東部地震等を教訓にLPガス採用

クラッセイン木古内 (北海道上磯郡木古内町)

厨房や給湯、浴場でLPガス常用

「クラッセイン木古内」は木古内町で初めての都市型ビジネスホテルで、平成31年3月にオープンした。

東日本大震災や北海道胆振東部地震を教訓として、燃料にLPガスを採用して施設の強靱化を図った。LPガス設備は災害バルクのほか、非常用発電機とLED投光器を導入した。同年2月には木古内町と避難場所提供についての合意書を交わし、災害発生時は宿泊者や従業員だけでなく近隣住民も受け入れる。

ホテルの運営は、主に道内でホテルやスーパー銭湯を管理運営する株式会社アンビックスが行っている。LPガスはホテルの厨房や各室の給湯に加え、1階にある浴場で常用する。

ユーザーの声



株式会社アンビックス
総合営業企画本部
新規事業開発部

本田 圭吾 さん

停電時も非常用発電機があり安心

LPガスは火力が安定しているという認識を持っています。また、当社は重油を使うスーパー銭湯を道内各地で運営していますが、価格の変動が大きいため一部施設でLPガスのボイラーを導入し併用しています。LPガスは重油に比べ、価格の変動幅も小さいため安心して使えているというのが率直な印象です。ホテルは災害時に停電が発生しても非常用LPガス発電機があるので安心です。いざというときの避難場所として、地域にとって今後頼りになる施設となるのは間違いありません。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (9.9kVA)
- ・LED投光器



クラッセイン木古内



災害バルク貯槽と非常用発電機

災害バルクで避難所機能を充実

自動車教習所として地域に安心を提供

株式会社コガワ計画 Mランド益田校 (島根県益田市)

災害バルク採用を即決

株式会社コガワ計画が運営するMランド益田校(正式名称「益田ドライビングスクール=MDS」)は島根県公安委員会指定の自動車教習所。益田市の指定避難場所でもある同校では、LPガス事業者の提案を受けて補助金を活用した災害バルクの採用を即決、併せて非常用発電機や炊き出しセットも導入し避難所機能の充実を図った。災害バルク導入後に初めて行った平成30年12月の防災訓練には、益田市、消防、警察、自治会から200人が参加した。同校の合宿・通学教習の卒業生は年間6,000人に上り、外国人の教官も採用している。平成24年には業界初の教育コーチング認定校となり、免許取得教習だけでなく、教習生の自立を支援する教育のほか、地域住民を含めた人々が安心して居られる場所を目指している。

ユーザーの声



株式会社コガワ計画
専務取締役

水津 裕二 さん

地域の交流センターとして

取引先のLPガス事業者から国の災害バルク補助事業の提案を受けた際、役員会で採用を即決して申請を行いました。当社は以前から、自動車教習所の役割が免許教習だけでなく、教習生や地域の皆さんの「安心」をキーワードに、地域の交流センターへと変化していることを認識し、当所を地域や国内外の人たちの交流の場とするよう努力してきました。名称のMDSをマインドデザイン(心を彩る)学校、益田を心から愛する学校とご理解いただければと思います。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (500kg)
- ・非常用LPガス発電機 (9kVA)
- ・LED投光器
- ・炊き出しセット



Mランド益田校 (益田ドライビングスクール)



災害バルク貯槽



非常用発電機

新社屋に発電機とGHP導入

熱源と電源、空調を備えた避難所に

株式会社豊後プロパン (大分県大分市)

地域住民の安全・安心を提供

株式会社豊後プロパンは旧法務局のビルを購入し、本社移転の準備を進めている。新社屋は4階建てで災害時に地域住民が避難所として活用できるように大分市の指定避難所に登録し、国の補助事業を活用して災害バルクと非常用発電機、GHPを導入した。

昭和46年に創業した同社グループのモットーは「地域の皆様に安心して便利な暮らしをお届けすること。LPガス事業を中心に、エネルギー、リフォーム、不動産開発、レジャー、農業と多角的に事業を展開し、「こころ豊かに過ごせる街づくり」に取り組んでいる。今回、地域住民の安全・安心を第一に考え、災害バルクと発電機、GHPの導入により熱源と電源、空調を確保した避難所を整備した。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (40kVA)
- ・GHP (20馬力)



新社屋となるビル



災害バルク貯槽



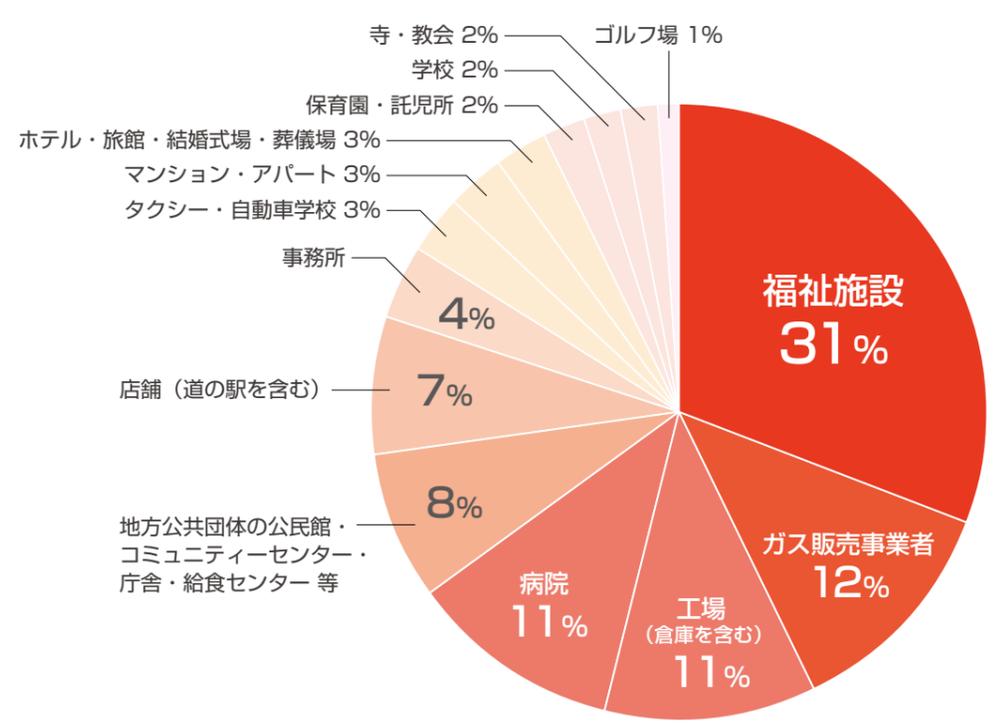
非常用発電機



GHP

LPガス災害バルクはこんなところで利用されています

平成25～30年度災害バルク導入補助制度における 設置場所(建物用途)別設置実績



種 別	箇所数
福祉施設	176
ガス販売事業者	70
工場(倉庫を含む)	65
病院	64
地方公共団体の公民館・コミュニティセンター・庁舎・給食センター等	47
店舗(道の駅を含む)	38
事務所	22
タクシー・自動車学校	18
マンション・アパート	18
ホテル・旅館・結婚式場・葬儀場	15
保育園・託児所	13
学校	11
寺・教会	9
ゴルフ場	3
合 計	569